CDPS160-JA-1C

JA

CDP-S160

CASIO

クイックスタートガイド（保証書別添）

本書は、お読みになったあとも、保証書とともに、大切に保管してください。
別紙の「安全上のご注意」をお読みの上で、正しくお使いください。

本書には、基本的な操作方法がまとめられています。より詳しい情報については、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。
https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S160/

本機でできること

✔いろいろな音色で鍵盤演奏を楽しむ
グランドピアノをはじめ10音色を内蔵しています。2つの音色を重ねて鳴らすことも可能です。
☞ 本書「音色を選んで弾く」

✔デジタルピアノならではの設定機能
☞ 本書「鍵盤を左右に分けて２人で弾く（デュエット）」、「演奏を録音／再生する（録音機能）」

✔メトロノームを使って練習する
テンポを一定に保つ練習に、メトロノームは効果的です。本機は9拍子以内のメトロノーム音を鳴らせます。
☞ 本書「メトロノームを鳴らす」

✔外部機器の音を本機で鳴らす
携帯オーディオプレーヤーなどを本機のAUDIO IN端子へ接続して、好きな曲と一緒に演奏できます。
☞ 本書「外部機器の音を本機で鳴らす」

✔スマートデバイスとつないで広がる機能
スマートデバイスの画面で本機を操作できるほか、さまざまな楽しみ方を提供します。
☞ 本書「スマートデバイスとリンクする（APP 機能）」

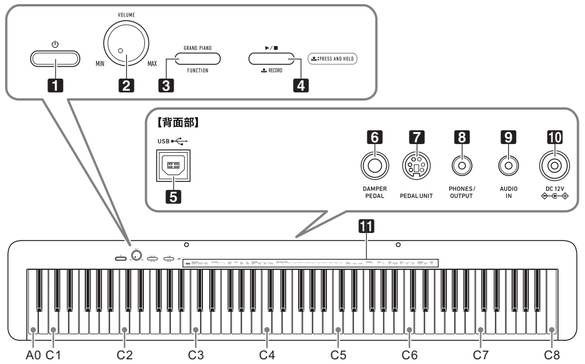
✔ほかにも、こんなことができます
- 鍵盤の感度を変える（タッチレスポンス）
- 音色に効果をかける（エフェクト）
- 音高を半音単位で変える（トランスポーズ）
- 音高を微調整する（チューニング）
- パソコンとつないでMIDIデータ送受信

☞ 弊社ウェブサイト（上記）の「取扱説明書」を参照

✔困ったときは
☞ 弊社ウェブサイト（上記）の「取扱説明書」を参照

はじめに本書に記載の「電源の準備」をした上で、本機の電源を入れてから、操作を開始してください。

全体ガイド



- 製品のボタン名には、🖫というマークが付いているものがあります。マーク付きのボタン名は、そのボタンを長押ししたときの動作を表しています。

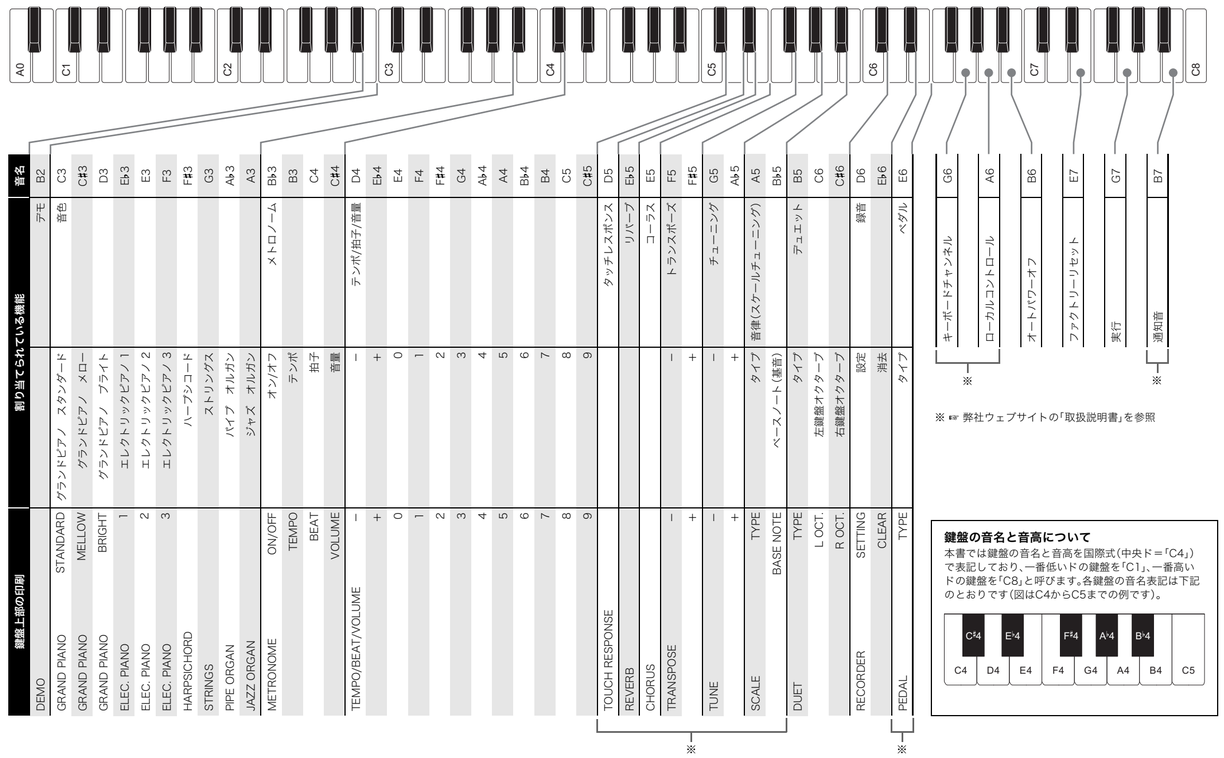
1 ⏻（電源）ボタン
2 **VOLUME**（音量）つまみ
3 **GRAND PIANO**（グランドピアノ）、**FUNCTION**（ファンクション）ボタン
4 ▶/■（演奏／停止）、🖫**RECORD**（レコード）ボタン
5 **USB** Type B端子
6 **DAMPER PEDAL**（ダンパーペダル）端子
7 **PEDAL UNIT**（ペダルユニット）端子
8 **PHONES/OUTPUT**（ホンズ／アウトプット）端子
9 **AUDIO IN**（オーディオ入力）端子
10 電源端子（**DC 12V**）
11 鍵盤の機能名※

※鍵盤の機能名について
音色を切り替えるなどの操作時は、**3** **FUNCTION**ボタンを押したまま鍵盤を押します。各鍵盤に割り当てられている機能の多くは、鍵盤上部の印刷で確認できます。例えば音色鍵盤（C3～A3）の上部には、各鍵盤を使って選べる音色名が印刷されています。

■ 譜面立ての準備

■ 本機を工場出荷時の状態に戻すには
本書裏面の「本機を工場出荷時の状態に戻す」をご参照ください。

鍵盤機能一覧

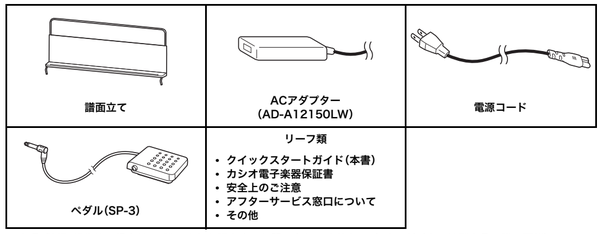


鍵盤の音名と音高について
本書では鍵盤の音名と音高を国際式（中央ド＝「C4」）で表記しており、一番低いドの鍵盤を「C1」、一番高いドの鍵盤を「C8」と呼びます。各鍵盤の音名表記は下記のとおりです（図はC4からC5までの例です）。

付属品、別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

付属品一覧



リーフ類
- **クイックスタートガイド（本書）**
- **カシオ電子楽器保証書**
- **安全上のご注意**
- **アフターサービス窓口について**
- **その他**

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。（ACアダプターは別売品で購入可能）
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
ペダル	SP-3 SP-20 SP-34

商品名	品番
イス	CB-5 CB-7 CB-30
スタンド	CS-46P

商品名	品番
3本ペダル付きピアノスタンド	CS-470P
ソフトケース	SC-800P
ACアダプター	AD-A12150LW

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能です。
- 別売品については、店頭の製品カタログまたは弊社ウェブサイトでより詳しい情報がご覧になれます。
  https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S160/

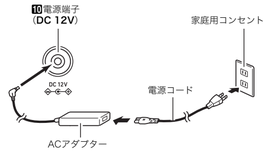
演奏の準備

電源の準備

■ ACアダプターを使う
本機指定のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）を使用してください。他のACアダプターを使用すると発煙や故障の原因になることがあります。

ACアダプターの型式：AD-A12150LW（JEITA Standard plug）

ACアダプターの接続には、付属の電源コードをご使用ください。



重要！
- **本機付属のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）は、本機にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。**
- **ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。**
- **長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。**

■ 乾電池を使う

重要！
- **乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。**
- **乾電池は市販の乾電池をご使用ください（オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください）。**
- **乾電池を入れるために本機を裏返すときは、次のことにご注意ください。**
  - **本機の下に手を挟まないようご注意ください。けがの原因となります。**
  - **不用意に倒すなどして、本機に衝撃を与えないでください。VOLUMEつまみや鍵盤が破損する原因となります。**

1. 本機の裏側にある電池ブタをはずします。
2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。
   本体の印に合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。
3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

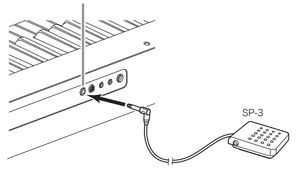
■ 乾電池交換時期のお知らせ表示
乾電池が消耗してくると、**1** ⏻（電源）ボタンのランプが点滅します。新しい乾電池と交換してください。

重要！
- **電池が消耗したまま本機の使用を続けると、自動的に電源が切れます。この場合、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。**

ペダルを使う

■ DAMPER PEDAL端子とダンパーペダル機能について
付属のペダル（SP-3）を、**6** **DAMPER PEDAL**端子に接続して、ダンパーペダルとして使用できます。
演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤を離してもその音の余韻が残ります。

【背面部】

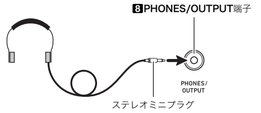


■ PEDAL UNIT端子について
☞ 弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照

7 **PEDAL UNIT**端子には、別売のペダルユニット（SP-34）をご利用ください。よりグランドピアノに近い、表現力豊かなペダル演奏が楽しめます。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。
- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。



メモ
- ヘッドホンは本製品に付属されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になれます。

重要！
- **大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。**
- **ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。プラグが残っていると演奏しても音が出ません。**

電源の入れ方、切り方

1. **1** ⏻（電源）ボタンを押して、本機の電源を入れます。



   - 電源ランプが点灯し、数秒後に使用可能となります。
2. 本機の電源を切るには、電源ランプが消灯するまで、**1** ⏻（電源）ボタンを押し続けます。

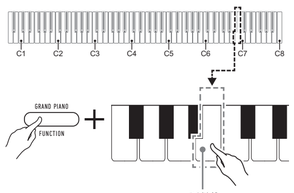
メモ
- **1** ⏻（電源）ボタンで電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。
- 本機の電源を切ると各種の設定は初期設定に戻りますが、チューニング設定および録音内容は保持されます。

オートパワーオフ機能

本機を何も操作せずに一定時間放置すると、無駄な電力消費を防ぐため自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、約4時間（ACアダプター使用時）／6分（電池使用時）です。

■ オートパワーオフの動作を切り替えるには
- 設定に使う鍵盤の位置がわからないときは、「鍵盤機能一覧」をご参照ください。

1. **3** **FUNCTION**を押したまま、B6（オートパワーオフ）鍵盤を押します。
   - B6鍵盤を押すたびに、ピッという通知音が鳴ります。低い音が鳴るとオートパワーオフがキャンセルされ、高い音が鳴るとオートパワーオフが有効になります。



2. 希望する設定に切り替わったら、**3** **FUNCTION**を離します。

音量を調整する

2 **VOLUME**つまみでスピーカーやヘッドホンからの音量を調整します。



音色を選んで弾く

内蔵の10音色から1つを選ぶか、2つを選んで同時に鳴らすことができます。

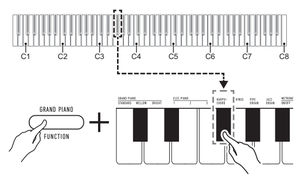
GRAND PIANO STANDARD音色を選ぶには

3 **GRAND PIANO**を押します。



音色を1つ選ぶには

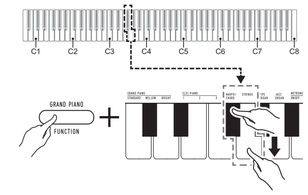
1. **3** **FUNCTION**を押したまま、音色鍵盤（C3～A3）の1つを押します。
   - 例えばHARPSICHORDを選ぶには、**3** **FUNCTION**を押したままHARPSICHORD鍵盤（F♯3）を押します（ピッという通知音が鳴ります）。



2. **3** **FUNCTION**を離します。

2つの音色を重ねるには（レイヤー）

1. **3** **FUNCTION**を押したまま、重ねて鳴らしたい2音色の音色鍵盤（C3～A3）を順番に押します。
   - 例えばHARPSICHORDとSTRINGSを重ねて鳴らすには、**3** **FUNCTION**を押したままHARPSICHORD鍵盤（F♯3）を押し、続いてSTRINGS鍵盤（G3）を押します。



   - 1つ目の鍵盤を押すとピッという通知音が鳴り、2つ目の鍵盤を押すと完了を表す通知音が鳴ります（ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります）。
2. **3** **FUNCTION**を離します。
   - 1つの鍵盤を押しただけで、HARPSICHORDとSTRINGSの2つの音が同時に鳴るようになります。
   - 2音色を重ねて鳴らすのをやめるには、「音色を1つ選ぶには」を実行します。または、**3** **GRAND PIANO**を押すと、GRAND PIANO STANDARDの1音色だけが鳴る状態になります。

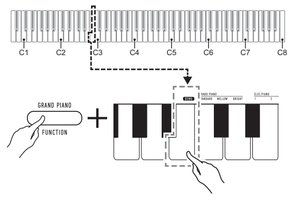
音色リスト

音色名	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB
GRAND PIANO STANDARD	0	0
GRAND PIANO MELLOW	1	0
GRAND PIANO BRIGHT	2	0
ELEC.PIANO 1	3	0
ELEC.PIANO 2	4	0
ELEC.PIANO 3	5	0
HARPSICHORD	6	0
STRINGS	7	0
PIPE ORGAN	8	0
JAZZ ORGAN	9	0

裏面に続く➔

デモ演奏を聴く

1. **3**FUNCTIONを押したまま、DEMO鍵盤(B2)を押します。



デモ専用曲(全2曲)の再生が開始されます。

2. デモ演奏を終了するには、**3**FUNCTIONを押したまま、DEMO鍵盤(B2)を押します。
   - **3**FUNCTION または **4**▶/■を押しても、デモ演奏が終了します。

デモ曲リスト

曲番号	曲名	音色名
1	プレリュード「ベルガマスク組曲」より	GRAND PIANO STANDARD
2	オリジナル	ELEC.PIANO 1

メトロノームを鳴らす

メトロノームは一定の間隔で音を刻みます。曲を練習するときにメトロノームを使うと、一定のテンポを保つ練習ができます。

■ メトロノームを鳴らすには、止めるには

1. **3**FUNCTIONを押したまま、METRONOME ON/OFF鍵盤(B♭3)を押します。

■ メトロノームの拍子を変えるには

1. **3**FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。
   (1) METRONOME BEAT鍵盤(C4)を押します。
   (2) 指定したい拍子に応じて、[0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C♯5)のいずれか1つを押します。

設定	説明
0	すべての拍で弱音が鳴ります。
1	すべての拍で強調音が鳴ります。
2～9	2拍子～9拍子です(初期設定:4)。拍頭で強調音が鳴り、他の拍では弱音が鳴ります。

   - [－]鍵盤(D4)と[＋]鍵盤(E♭4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定に戻ります。

2. **3**FUNCTIONを離します。

■ メトロノームのテンポを変えるには

メモ
- メトロノームのテンポは、20～255(拍/分)の間で設定できます。テンポの数値は3桁で入力します。100(拍/分)未満のテンポを設定したいときは、数値の先頭に必ず「0」を付けてください。

1. **3**FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。
   (1) METRONOME TEMPO鍵盤(B3)を押します。
   (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C♯5)を使って、テンポの数値3桁を入力します。
   例えば80拍/分にしたい場合は、0 (E4) → 8 (C5) → 0 (E4)の順に鍵盤を押してください。3桁まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
   - [－]鍵盤(D4)または[＋]鍵盤(E♭4)を押すことで、テンポを1ずつ上げ下げすることもできます。
   - [－]鍵盤(D4)と[＋]鍵盤(E♭4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定(120拍/分)に戻ります。

2. **3**FUNCTIONを離します。

■ メトロノームの音量を調節するには

メモ
- メトロノームの音量は、0(無音)～42(最大音量)の間で調節できます。音量の数値は2桁で入力します。10未満にしたいときは、数値の先頭に必ず「0」を付けてください。

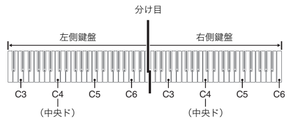
1. **3**FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。
   (1) METRONOME VOLUME鍵盤(C♯4)を押します。
   (2) [0]鍵盤(E4)～[9]鍵盤(C♯5)を使って、音量の数値2桁を入力します。
   例えば音量値を8にしたい場合は、0 (E4) → 8 (C5)の順に鍵盤を押してください。2桁まで入力すると、数値が確定したことを表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
   - [－]鍵盤(D4)または[＋]鍵盤(E♭4)を押すことで、音量を1ずつ上げ下げすることもできます。
   - [－]鍵盤(D4)と[＋]鍵盤(E♭4)を同時に押すと、ピーという長めの通知音が鳴り、初期設定(36)に戻ります。

2. **3**FUNCTIONを離します。

鍵盤を左右に分けて2人で弾く(デュエット)

鍵盤の中央から右側と左側で同じ音域にすることができます。左側で先生がお手本演奏をして、右側で生徒さんが同じメロディーを弾く、といった活用ができます。

【鍵盤】



【ペダル】

☞ 弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照

■ デュエット機能を使うには

1. **3**FUNCTIONを押したまま、DUET TYPE鍵盤(B5)を押します。
   押すたびに設定が切り替わり、切り替わった設定に応じてピッという通知音が下表のとおり鳴ります。

通知音	デュエット設定	説明
低音1回	オフ(初期設定)	デュエット機能をオフにします。
高音1回	オン	デュエット機能をオンにします。
高音2回	パン	デュエット機能をオンにし、左側鍵盤の音は左スピーカーからのみ、右側鍵盤の音は右スピーカーからのみ出るようにします。

2. 希望する設定になったのを確認し、**3**FUNCTIONを離します。
3. 音色を選び、演奏します。

メモ
- デュエット機能をオンにすると、自動的にデュエット演奏に適した状態に切り替わります。
- デュエット機能をオンにしている場合、一部の設定が変更できなくなります。

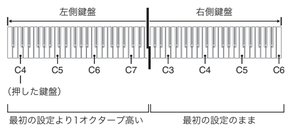
■ 音域を変更するには

最初の設定から、左右の鍵盤それぞれの音域をオクターブ単位で変更できます。

1. **3**FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。
   (1) 左側鍵盤の音域を変更するには、DUET L OCT.鍵盤(C6)を押します。
   (2) 左側鍵盤の範囲内で、C4(中央ド)の高さに設定したいC(ド)の鍵盤を押します。
   - 操作の完了を表す通知音が鳴ります(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)。
   - 範囲外の鍵盤を押すと、設定できないことを表すピッ(高音)→ピッ(低音)という通知音が鳴ります。

【設定例】

左端のC(ド)の鍵盤を押した場合、音域は下記のようになります。



2. **3**FUNCTIONを離します。

演奏を録音／再生する(録音機能)

本機で演奏した内容を録音して、再生できます。

● **録音できる容量**
- 約2,500音符まで録音できます。
- 録音できる容量が残り少なくなると、**4**RECORDボタンのランプの点滅が速くなります。
- 演奏の途中で録音できる容量をこえると、自動的に録音が止まります。

● **録音される内容**
- 鍵盤演奏
- 演奏に使った音色(レイヤー状態含む)
- ペダル操作
- リバーブ／コーラス設定
- テンポ設定
- トランスポーズ設定
- デュエット設定(オフ/オン/パン)、デュエットの音域設定

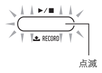
メモ
- 録音中は本機の設定を変更できません。

● **録音内容の保持**
- 新しく録音した時点で、前の録音内容は消去されます。
- 録音中に本機の電源が切れると、それまで録音したデータが消去される場合があります。誤って電源を切らないようにご注意ください。

重要!
- **本機の故障、修理などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

■ 録音するには

1. **4**RECORDを長押しして、ボタンのLEDを点滅させます。



   - **4**RECORDボタンLEDの点滅は、録音待機状態を表します。
   - 録音待機状態を解除するには、もう一度**4**RECORDを長押しして、LEDを消灯させます。

2. 録音を開始するには、LED点滅中に鍵盤演奏を始めるか、**4**▶/■を押します。
   - 録音中は、LEDが点灯します。

3. 録音を終了するには、**4**▶/■を押します。
   録音内容を保存したあと、LEDが消灯します(保存にはしばらく時間がかかる場合があります)。

■ 録音した演奏を再生するには

1. **4**▶/■を押します。
   録音した演奏の再生が開始されます。

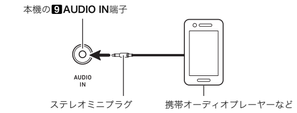
メモ
- 録音した曲を再生中は、録音されたテンポに合わせてボタンのLEDが点滅します。

2. 再生を停止するには、もう一度**4**▶/■を押します。

外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。
- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

重要!
- **接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。**
- **接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。**
- **本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。**



本機を工場出荷時の状態に戻す

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。
- 設定に使う鍵盤の位置がわからないときは、本書表面の「鍵盤機能一覧」をご参照ください。

1. **3**FUNCTIONを押したまま、下記(1)、(2)の順に操作します。
   (1) E7(ファクトリーリセット)鍵盤を押します。
   - ピッという通知音が鳴ります。
   - (2)の操作と同時に、初期化が実行されます。初期化するのをやめるには、ここで**3**FUNCTIONを離してください。

   (2) G7(実行)鍵盤を押します。
   - 操作の完了を表す通知音が鳴り(ピッと短く鳴った後、ピーと長く鳴ります)、初期化が開始されます。
   - 初期化には、しばらく時間がかかることがあります。
   - 初期化が完了すると、本機の電源が切れます。

2. **3**FUNCTIONを離します。

製品仕様

型式	CDP-S160BK/CDP-S160RD
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大64音
音色	10種類、レイヤー可
エフェクト	リバーブ（4種）、コーラス（4種）
メトロノーム	• ベル音:0(オフ)、1～9(拍子) • テンポ範囲:20～255
デュエット	音域変更可（−2～+1オクターブ）
デモ曲	2曲
録音機能	• 方式:リアルタイム録音、再生 • 曲数:1曲 • 容量:合計約2,500音符 • 録音内容の保持:内蔵フラッシュメモリー
ペダル	ダンパー（別売のSP-34使用時はソフト、ソステヌートも可）
その他の機能	• タッチレスポンス:3種類、オフ • トランスポーズ:2オクターブ(−12～0～12半音) • チューニング:A4＝415.5Hz～465.9Hz(初期値: 440.0Hz)、0.1Hz単位で設定可 • 音律(スケールチューニング):平均律＋16種類
MIDI	16chマルチティンバー受信
入出力端子	• PHONES/OUTPUT端子: ステレオミニジャック 出力電圧1.2V(RMS)MAX • 電源端子:DC12V • AUDIO IN端子:ステレオミニジャック 入力インピーダンス 10kΩ 入力感度 200mV • USB端子:Type B • DAMPER PEDAL端子:標準ジャック • PEDAL UNIT端子:専用形状
スピーカー	12cm×6cm（楕円形）×2（出力8W＋8W）
電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約13時間（アルカリ電池使用時）
家庭用AC100V電源	ACアダプター AD-A12150LW使用
オートパワーオフ機能	4時間後（ACアダプター使用時）／6分後（電池使用時）、キャンセル可能
消費電力	12V ⎓ 8W
サイズ	幅132.2×奥行23.2×高さ9.9cm
質量	約10.5kg（乾電池含まず）

• 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

スマートデバイスとリンクする(APP 機能)

本機をスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続すると、スマートデバイスから本機を操作することができます(ピアノリモートコントローラー)。

■ スマートデバイス用アプリをダウンロードする

弊社ウェブサイトからスマートデバイス用アプリをダウンロードして、お使いのスマートデバイスにインストールしてください。
https://support.casio.jp/emi/manual/CDP-S160/

■ 本機とスマートデバイスを接続するには

上記のアプリをお使いのスマートデバイスにインストールしたら、本機のUSB Type B端子とスマートデバイスのUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続してください。
本機とスマートデバイスを接続した後は、各種操作をスマートデバイス上のアプリで実施します。各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。

ご使用上の注意

別紙の「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。
- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

カビを予防するために、風通しに配慮して設置場所の温度・湿度を保ってください。
- 推奨温度範囲:15 ～ 25 ℃
- 推奨湿度範囲:40 ～ 60%RH

■ 本機のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ティッシュは傷がつきやすいのでご使用にならないでください。
- 汚れが気になる時は、薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し固く絞ってから軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で軽く製品表面を拭いてください。
- 変色、変質、塗装はがれ、ひび割れ等の恐れがありますので、ベンジン、有機溶剤、アルコール等が含まれるクリーナー剤、塩素系消毒液、アルコールタイプの除菌シート等はご使用にならないでください。

■ 除菌・消毒方法について

- ノンアルコールの除菌シートで2～3回拭き取りをした後、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。
- 乾拭きをしないで放置すると痕が残りますので、ご注意ください。
- 複数の方が製品をご利用する場合は、ご利用前後に手を消毒していただくことをおすすめします。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の"ウエルドライン"と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● **保証期間中は**
保証書の規定に従って取扱説明書等に記載の「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参または ご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

● **保証期間が過ぎているときは**
取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

あらかじめご了承いただきたいこと

● **「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。**
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

● **修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。**

● **録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。**
また、お客様のデータが消える場合が有りますので、必要なデータは修理に出す前にお客様にてバックアップをお願いいたします。

● **日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理お申込み先」にご依頼ください。**

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■JIS C 61000-3-2適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan
Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio.com
E-mail address: info@casio.de

Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan
Responsible within the United Kingdom:
Casio Electronics Co. Ltd.
10 Norwich Street, London, EC4A 1BD, U.K.
www.casio.co.uk

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

C MA2608-C Printed in China
© 2021 CASIO COMPUTER CO., LTD.